

令和7年11月9日（日）、防衛大学校の開校祭行事に合わせて、48期生のHVD（ホーム・ビジット・デー）が開催されました。やや肌寒さを感じるも天気は何とか持ち堪え、予定どおりの行事が執り行われました。

HVDは、防大卒業生が卒業20周年目の節目に防衛大学校に集い、現役会員の同窓会意識の高揚や同期生の団結の強化等を目的とした防衛大学校同窓会事業の一つです。48期生のHVDは、4月頃から先行的かつ入念な準備を行い、11月8日（土）の前夜祭、そして9日（日）の本番を迎えました。



【右写真は、HVD準備に尽力した阿久津2等海佐、藤本3等陸佐】

11月8日（土）新宿にて前夜祭を開催し、約100名が参加し親睦を深めました。



前夜祭風景

11月9日（日）は、当初、48期生の代表である齋藤1等空佐（48期生会長代理）、平1等陸佐、阿久津2等海佐の3名が久保防衛大学校長を表敬し、HVD開催における便宜に対する謝意を伝えるとともに、久しぶりに訪れた防衛大学校の状況を学校長からお伺いし談笑しました。また、48期生一同からの記念品として、事前に姿見鏡が新築中の5大隊学生隊舎に設置され、学校長表敬時にその目録を贈呈しました。



久保防衛大学校長と代表者の記念撮影



久保防衛大学校長への記念品目録の贈呈



その後、厚生棟（旧学生会館）4階ホールにおいて家族を含む約210名が参加し、防大48期卒業20周年記念懇親会を実施しました。始めに48期生会長代理の挨拶及び参加いただいた丸茂防衛大学校同窓会長からの48期生に対する激励を頂き、懇親会が開始しました。会の終始を通じ、久々に顔を合わせる同期及び家族との懇親を深め、最後は久しぶりに逍遥歌を皆で斉唱した後、参加した同期生全員の記念撮影で会を締めくくりました。



丸茂同窓会長を交えた懇親会



海外在住等欠席者からのビデオレター紹介